

カルテの開示

インフォームド・コンセント（十分な説明を行い、同意を得る事）の一環として、『カルテの開示』について院内規約を制定し、本規約に基づきカルテを開示します。

カルテには、患者さまご自身のプライバシーに関する情報が記録されていますので、患者さま以外の方への開示は原則として行いません。また、カルテを開示することにより、今後の治療に好ましくないと思定される場合には、院内の審査委員会で検討し、是非を決めることとしてまいります。

申込から提供までに2週間程度お時間をいただきます。また診療記録開示に係る料金として、開示手数料と実費がかかりますので、ご了承ください。カルテ開示を希望される場合には、患者支援センターまでお申し出ください。

各種相談のご案内

医療や福祉に関する相談で、入院・外来を問わず、ご遠慮なくご相談ください。相談により不利益を受けることはありません。

【医療福祉相談（患者サポート窓口）】
【平日】8：30～17：00
【土】8：30～12：15
社会福祉士・精神保健福祉士が、社会保障制度の活用、生活上及び入院上の不安・ご意見を伺います。
退院後の療養生活における心配ごとなどにも応じております。
経済的事情により、医療費の支払いが困難な場合には減免などの相談にも対応しています。

【総合看護相談・専門看護相談】
【2024年6月平日】9：00～16：00
総合看護相談では、疾患や治療にまつわる悩みや不安、臓器移植・医療安全に関する事などについてご相談を伺います。
専門看護相談では、各領域の専門知識を持った看護師が担当します。

【在宅療養支援相談・入院退院支援相談】
【平日】8：30～17：00
看護師が、在宅療養中の悩みや、入院前から退院後の生活の不安などについて医師やケアマネジャー、訪問看護師などの院内外医療者と連携しながらご相談に対応します。

【介護保険相談（予約制）】
【平日】9：00～12：00、13：00～16：00
聖隷ケアプランセンターの介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護保険の申請、ケアマネジャーの選定などに関するご相談に応じております。

【医療安全相談】
【平日】8：30～17：00
【土】8：30～12：15
医療安全に関する相談受付窓口です。必要に応じ、医療安全管理者が対応することも可能です。
※ 上記受付時間外の緊急を要する医療安全相談は、受付1番にお申し出下さい。

がん相談支援センターのご案内

聖隷浜松病院は「地域がん診療連携拠点病院」の認定を受けております。がんにまつわる疑問や心配事をお気軽ににご相談ください。

- がんの病態や標準的治療法等、がんの治療に関する一般的な情報の提供
- がんの予防やがん検診等に関する一般的な情報の提供
- 自施設で対応可能ながん種や治療法等の診療機能及び、連携する地域の医療機関に関する情報の提供
- セカンドオピニオンや意思決定に関する相談
- 療養生活やアピアランスケアに関する相談
- 経済的なことや就労に関する相談
- 地域の医療機関におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供
- アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する相談
- HTLV-1関連疾患であるATLに関する相談
- 医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援
- 相談支援に携わる者に対する教育と支援サービス向上に向けた取組
- がんゲノム医療に関する相談
- 希少がんに関する相談
- AYA世代にあるがん患者に対する治療療養や就学・就労支援に関する相談
- がん治療に伴う生殖機能の影響や、生殖機能の温存に関する相談
- 小児がんの長期フォローアップに関する相談
- 高齢者のがん治療に関する相談
- 障がいのある方への支援に関する相談
- その他相談支援に関すること

【患者サロン・相談会など】
がん相談支援センターでは、治療と生活の両立を支援しています。
がん患者さん、ご家族が知識を深めたり思いを語り合う場として「がん患者さん・ご家族のための学びと語りの会」や就労に関する悩みを相談できる場として「社会保険労務士による就労個別相談会」「ハロワーク浜松による就労相談会」を設けています。開催の詳細い内容については院内掲示ポスター、ホームページ（お知らせ欄）、がん相談支援センターまでお問い合わせください。電話でのご相談も応じています。視覚・言語障害等により対面・電話が難しい場合には個別に対応いたします。

聖隷浜松病院　がん相談支援センター　電　話　053-474-2222(代表)、053-474-2666(直通)

緩和ケアサポートチーム

緩和ケアサポートチームとは、患者さんとご家族の心と体のつらさを和らげるために緩和ケアを専門とする医師、看護師、薬剤師、リハビリ療法士、公認心理師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど多くの職種で構成されたチームです。身体的、心理・社会的支援を主治医・担当看護師とともに行います。

具体的には、がんを患っておられる患者さんの痛みや不安、不眠、息苦しさなどの症状を評価し和らげる方法を検討、実践します。その他、地域のサービスなどの社会的支援の情報提供を行います。

対象は、すべての悪性疾患や末期期不全の患者さんとご家族です。緩和ケアサポートチームをご利用になりたい方は主治医・担当看護師にご相談ください。

脳卒中ユニット（SU）

当院では、急性期の脳卒中患者さんを治療、管理するための専用治療室を有しており、脳卒中の専門家が集まったチームが入室した患者さんの診療を行います。チームは脳卒中専門医、脳卒中専門看護師、作業療法士など他職種で構成されており、カンファレンスを実施して、患者さんの病状に最適な治療を選択し診療を行っています。

診療録及びX線フィルム等の保存

より質の高い医療を行う為のひとつの手段として、法令で定められている年数を超えて診療録及びX線フィルム等の一部を外部保存いたしております。これらにつきましては、厚生労働省のガイドラインに則って搬送・保管を行っており、患者さまの個人情報の保護には万全を期しております。
本件につきまして、ご質問ご説明を希望されます場合は、診療情報管理室までお申し出ください。

緊急整備固定加算及び緊急挿入加算

大腿骨近位部骨折後48 時間以内に手術を実施した実績 （2025年1月～2025年12月実績） 77件

看護配置

当院の一般病棟は急性期一般入院料1の基準を満たしており、平均して入院患者7人に対して看護職員1人以上が勤務しております。以下の病棟において、1日に325人以上の看護職員（看護師、助産師、准看護師）が勤務しています。

病棟	看護職員1人あたりの受け持ち患者数（平均）			1日に勤務する看護職員数
	8:30～16:30	16:30～0:30	0:30～8:30	
A3病棟	4人以内	10人以内	10人以内	16人以内
A4病棟	4人以内	10人以内	10人以内	16人以内
A5病棟	4人以内	8人以内	14人以内	15人以内
A6病棟	4人以内	8人以内	13人以内	17人以内
A7病棟	4人以内	10人以内	14人以内	16人以内
B3病棟	4人以内	10人以内	10人以内	20人以内
B4病棟	5人以内	13人以内	15人以内	17人以内
B5病棟	5人以内	12人以内	15人以内	16人以内
B6病棟	5人以内	11人以内	14人以内	15人以内
B7病棟	6人以内	12人以内	14人以内	14人以内

病棟	看護職員1人あたりの受け持ち患者数（平均）			1日に勤務する看護職員数
	8:30～16:30	16:30～0:30	0:30～8:30	
B8病棟	4人以内	10人以内	10人以内	16人以内
ICU	2人以内	2人以内	2人以内	18人以内
救命救急病棟	4人以内	4人以内	4人以内	21人以内
MFICU	3人以内	3人以内	3人以内	12人以内
C5病棟	3人以内	6人以内	6人以内	20人以内
NICU	3人以内	3人以内	3人以内	26人以内
GCU	3人以内	4人以内	5人以内	10人以内
C7病棟	4人以内	8人以内	8人以内	15人以内
C8病棟	6人以内	8人以内	11人以内	11人以内
C9病棟	4人以内	9人以内	9人以内	14人以内

医科点数表第2表第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術にかかる施設基準

当院では、以下の手術において施設基準の承認を受けております(2025年1月～12月)

1. 区分1に分類される手術	件数	2. 区分2に分類される手術	件数	3. 区分3に分類される手術	件数	4. 区分4に分類される手術	1516
ア. 頭蓋内腫瘍摘出術等	48	ア. 靱帯断裂形成手術等	121	ア. 上顎骨形成術等	8		
イ. 黄斑下手術等	301	イ. 水頭症手術等	134	イ. 上頸骨悪性腫瘍手術等	31	5. その他の区分	件数
ウ. 鼓室形成手術等	1	ウ. 鼻副鼻腔腫瘍摘出術等	79	ウ. バセドウ病甲状腺全摘術(術後)等	9	ア. 人工関節置換術	306
エ. 肺悪性腫瘍手術等	14	ウ. 尿道形成手術等	1	エ. 母指化手術等	3	イ. 1歳未満の乳児に対する手術(乳児外科施設基準対象手術)	4
オ. 経皮的カテーテル心筋焼灼術	227	オ. 角膜移植術	0	オ. 内反足手術等	5	ウ. ベースメーカ―移植術及びベースメーカ―交換術	115
		カ. 肝切除術等	59	カ. 食道切除術再建術等	3	エ. 腎臓癌、本臓癌(ハイリスク腫瘍(手術による再発が心配するもの)を含む。))	173
		キ. 子宮頸癌悪性腫瘍手術等	42	キ. 同種死体移植術等	0	オ. 経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈インターロッキング術及び経皮的冠動脈ステント置換術	387

分娩件数

1,445件（2025年1月～12月）
従事者の配置人数（2026年1月）
【産婦人科または産科】に勤務する医師数 24名
【産婦人科または産科】に勤務する助産師数 71名

DPC対象病院

厚生労働大臣が指定するDPC対象病院です。入院医療費は病名をもとに、手術の有無や合併症の有無などに応じて、厚生労働省が定めた1日当たりの診断群分類点数表をもとに計算されます。詳しくは入院医事課へお問い合わせください。なお、当院におけるDPC係数は以下の通りです。

医療機関別係数 1.5897 機能評価係数Ⅰ 0.3954
基礎係数 1.0718 機能評価係数Ⅱ 0.0976
激変緩和係数 0.0000 救急補正係数 0.0249 （2026年2月1日）

評価療養

・評価療養（先進医療）	名称	金額（税込）	・薬事法で定める治療に係る療養（医薬品）
	子宮内細菌叢検査1	EMMA+ALICE 77,000円	
	子宮内細菌叢検査2	子宮内フローラ検査 49,500円	
	子宮内臓刺激術	SHEET法 40,700円	
	子宮内蔵受容能検査	ERA 169,400円	

選定療養

名 称	金額（税込）	名 称	金額（税込）	名 称	金額（税込）
初診時の特別の料金	7,700円	制限回数を超えてうけた診療		多焦点レンズの種類	
再診時の特別の料金	3,300円	・心大血管疾患患リビ [®] リア-ソ [®] 料	2,250円	・アルコン Clareon PanOptix Trifocal	220,000円
180日を超える入院	2,720円	・脳血管疾患患等リビ [®] リア-ソ [®] 料	2,690円	・アルコン Clareon PanOptix Trifocal	242,000円
		・廃用症候群 [®] リビ [®] リア-ソ [®] 料	1,980円	・アルコン Clareon Vivity	220,000円
		・運動器 [®] リビ [®] リア-ソ [®] 料	2,030円	・テクニス シアージュ [®] VS Simplicity	220,000円
		・呼吸器 [®] リビ [®] リア-ソ [®] 料	1,920円	・テクニス シアージュ [®] TVB Simplicity	242,000円
		精子の凍結及び融解	22,000円	・テクニス オプティ [®] TVB Simplicity	253,000円
				・テクニス オプティ [®] TVB Simplicity	275,000円
				・Vivonex ジェイ [®] リカ	253,000円
				・Vivonex ジェイ [®] リカ [®] リカ	275,000円

保険外負担

以下の項目について、その使用量、利用回数に応じた実費の負担をお願いしています。

季節性インフルエンザワクチン（12才以下）	4,250円	診察券再発行	1枚	110円
季節性インフルエンザワクチン（13才以上）	5,660円	病衣貸与代（新生児用）	1日につき	110円
水痘ワクチン	9,080円	テレビ用イヤホン	1個	250円
おたふくせきワクチン	5,210円	腹帯	1枚	2,860円
ヒブ感染症ワクチン	9,100円	ディスプレイ巾着	1枚	370円
肺炎球菌ワクチン（ニューモバックス）	7,810円	布Tシャツ	1枚	490円
肺炎球菌ワクチン（プレバナー）	11,000円	紙オムツ テープ止めM	1枚	130円
肺炎球菌ワクチン（パクニコバンス）	11,880円	紙オムツ テープ止めL	1枚	150円
帯状疱疹ワクチン（シングリックス）	27,220円	紙オムツ テープ止めLL	1枚	230円
水痘ワクチン（ベケン）	9,080円	紙おむつ（ [®] シム）	1日につき	500円
A型肝炎ワクチン	8,360円	訪問看護等交通費	1kmあたり	33円
B型肝炎ワクチン（ビームゲン）	5,230円	セカンドオピニオン	30分ごと	11,000円
B型肝炎ワクチン（ヘパタバックス）	5,290円	Q-YAGレーザー	1mmあたり（直径）	1,100円
BCGワクチン	5,890円	膀胱鏡検査 [®] 2	1パック	300円
二種混合ワクチン（麻疹・風疹）	13,200円	膀胱鏡検査 [®] 1	1つ	990円
二種混合ワクチン（ジフテリア・破傷風）	3,600円	膀胱鏡検査 [®] 1	1回	40,000円
四種混合ワクチン（ [®] 破傷風・ジフテリア・百日咳・ポリオ）	14,300円	NIPT（新型出生前診断）	1回	200,000円
五種混合ワクチン（ [®] 破傷風・ジフテリア・百日咳・ポリオ・MMR）	24,090円	コンバインドテスト	1回	80,000円
日本脳炎ワクチン	6,600円	羊水検査（検査のみ）	1回	50,000円
ロタウイルスワクチン	19,360円	羊水検査（迅速検査のみ）	1回	70,000円
RSウイルスワクチン	35,200円	羊水検査（ [®] 標準）	1回	80,000円
乳児健診 1ヶ月児	6,600円	羊水検査（ [®] 標準）	1回	100,000円
乳児健診	5,880円	羊水検査PCR（ [®] 標準）	1回	120,000円
3歳児健診	5,010円	羊水検査（ [®] 標準）	1回	200,000円
集団マタニティ検ササイズ	1,650円	羊水検査PCR（ [®] 標準）	1回	230,000円
遺伝カウンセリング料（初回）	9,900円	頭皮冷却	4回の場合	151,800円
遺伝カウンセリング料（再診 30分）	4,400円	頭皮冷却	8回の場合	204,600円
遺伝カウンセリング料（再診 60分）	7,700円	紙オムツ（ [®] 標準）	1枚	20円
凍結精子搬送料	3,300円	紙オムツ（ [®] 標準）	1枚	50円
IVF（体外受精基本料） 採卵0個の場合	172,390円	尿とりパット	1枚	30円
IVF（体外受精基本料） 採卵→受精確認	200,390円	付添いパット料	1日につき	330円
ET（胚移植） 新鮮胚移植	96,800円	選択メニュー	1食	110円
ET（胚移植） 凍結融解胚移植	111,100円	特別メニュー	1食	2,200円

通院証明書（病名なし）	1,100円
通院証明書（病名あり）	2,750円
病院診断書	2,750円
入院証明書	6,600円
死亡診断書（原本の写し）	3,300円
死亡診断書（保険会社提出用）	6,600円
健康診断書 検査結果	1,100円
支払い証明 再発行	1,650円

不妊治療費支援事業費補助金受診等証明書	2,750円
就労可能証明書	2,750円
受診状況証明書	2,750円
特別児童扶養手当認定診断書	1,650円
特別障害者手当認定診断書	1,650円
自立支援診断書	1,650円
自立支援診断書（手帳用）	3,300円
難病法疾患臨床調査個人票	3,300円

学童災害証明書	330円
入園・登園許可証明	330円
学校生活管理指導表	1,100円
分娩予定日証明書	1,100円
分娩証明書	1,100円
出生証明書	2,200円
出産育児一時金請求書	1,100円
出産手当金支給申請書	1,100円

身体障害者 診断書・意見書	3,300円	
年金診断書	6,600円	
保険診断書	6,600円	
特定医療療養証明書	6,600円	
自賠責明細書	3,300円	
自賠責診断書	5,500円	
後遺障害診断書	8,800円	
照会文書	6,600円	
コピー代（白黒）	1枚	22円
コピー代（カラー）	1枚	110円
CD-R代（ [®] 標準）	1枚	1,100円
診療録不存証明書	1枚	1,100円
※ドル工（ [®] 標準）	3回目まで	16,500円
※ドル工（ [®] 標準）	4回目	5,500円
※PRP（ [®] 標準）療法 ACP	1回	27,500円
※PRP（ [®] 標準）療法 GPS3	1回	105,600円
※PRP（ [®] 標準）療法 APS	1回	330,000円
※高気圧酸素治療	1回	33,000円
※ [®] （ [®] 標準）療法	1個	5,500円
※ [®] （ [®] 標準）療法	1個	7,700円

※別途、診療料等が実費となります

地域がん診療連携拠点病院

2005年(平成17年)1月より「地域がん診療連携拠点病院」に指定されています。

がん対策は、平成19年4月に施行されたがん対策基本法の基本理念にのっとり推進されています。そのなかで、厚生労働省により全国各地でも質の高いがん医療を提供することが出来るよう、「がん診療連携拠点病院」の整備がすすめられています。

地域がん診療連携拠点病院には以下の役割があります。

- 専門的ながん医療の提供
- 地域におけるがん診療の連携協力体制の整備
- がん患者さん、住民の方々への相談支援や情報提供等

当院は、上記の地域がん診療連携拠点病院の役割を担い、地域住民のみなさまにとって最適ながん診療の実践に取り組んでいます。

基幹型臨床研修指定病院

基幹型臨床研修病院とは、厚生労働省の定める指定基準を満たすことで、独自の研修プログラムを作成し、臨床研修医の指導を行う病院です。当院は厚生労働大臣より基幹型臨床研修病院に指定されています。基幹型臨床研修病院として、医師の人格涵養、診断・技術の指導を行い、広く社会の医療福祉に貢献できる医師の輩出に努めます。医師国家試験に合格し、2年間の研修期間中の研修医が患者さんの診察をさせていただきますので、ご協力をお願い致します。

臨床研修指定区分（施設番号：030392）
臨床研修病院 1980年 3月12日付 指定
単独型臨床研修病院 2003年 10月30日付 認定
基幹型臨床研修病院 2009年 9月24日付 変更（制度改正）

開放型病院 共同診療

地域医療の質の向上に寄与するため、地域の医師と当院の主治医が共同して、入院された方の診察を行うことができる開放型病院です。共同診療が行われた場合は『共同指導料』、退院時に指導が行われた場合は『退院時共同指導加算料』を請求させていただきます。

医療従事者の負担軽減

- 医師の勤務体制等に係る取組み
【勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施】
当直勤務者の人数を増やし、1ヶ月の当直回数を減らす
・40歳以上医師の担当を増やし、40歳以下医師2回/月を超えない状態を維持する
【予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮】
勤務状況を把握し予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮の検討を行う
【当直翌日の業務内容に対する配慮】
当直明けの休日取得を推進する
・診療部長へ当直明けの休日が取得できるよう配慮するように周知を図る
【交替勤務制・複数主治医制の実施】
さらなる交替勤務制の検討
・交替勤務制のシミュレーションを導入し拘束時間等を軽減する
【連続勤務時間の上限設定及びインターバルの確保】
連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保
【短時間正規雇用医師の活用】
育児休業中医師の早期復職を推進するために、保育園の受入れ、病児（病後児）保育室の受入について周知を行い、可能な範囲での復職を促す
- 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担の具体的な内容
【初診時の予診の実施】（看護師）
来院前電子問診導入後、スムーズな追加問診やトリアージを実施し、緊急性・重症度を判断する
・来院前問診実施と当日問診の時間比較
【静脈採血、静脈路確保等の実施】（看護師、臨床検査部）
・静脈採血、静脈路確保等の実施は継続して実施していく
・抗がん薬ルートの確保ができるIVナース人材育成の必要性を検討していく
・実施継続、必要に応じて見直しをする
【入院の説明の実施】（看護師、入院医事課）
入院前支援件数をさらに増加させる
・1600件/年目標
入院受付にて入院に関する説明
・実施継続、必要に応じて見直しをする
【検査手順の説明の実施】（看護師、外来クラーク）
説明動画の活用と新規作成を推進する
・新規作成2件
各種検査に対する事前準備等の説明
・実施継続、必要に応じて見直しをする
【服薬指導】（看護師、薬剤師）
役割分担しながら、患者に合わせた服薬管理・服薬指導を実施する
・実施継続、必要に応じて見直しをする
【診療実績等データの集積管理とその活用】（診療支援室）